

# 晴耕雨読

[ Seiko-udoku ]

2022年3月 vol. 37



## パン作り!クロワッサンに挑戦!



クロワッサンづくりに挑戦しました。普通のパンと違つて、工程が多く、苦労しましたが、焼き上がりはサクサクで、美味しくできました。



### ▼畑作業を始めました

少しずつ暖かくなってきたので、畑作業を始めています。まずは土づくりから。耕耘機で畑を耕し、石灰を蒔いています。



### ▼井戸開き

冬の間、井戸を開いていた藁を外して、井戸開きを行いました。初めのうちは濁っていた水も、ポンプを動かすたびに綺麗な水に代わっていきます。



twitter

carestanakamach



Facebook

caresta.day



Instagram

care.sta

デイサービス ケアスタ中町 〒 989-5145 宮城県栗原市金成中町西裏 15-4

TEL 0228-24-8456 FAX 0228-24-8457

# 晴耕雨読

[ Seiko-udoku ]  
2022年3月 vol. 37

認知症の人には、なじみの、生パン作り、パイキング、コーヒー焙煎、ノルディックウォーキングなど、紙面上では紹介しきれないプログラムを多数ご用意しております。それぞれのプログラムに目的と効果を設定して、プログラムを行う事で日常生活動作が訓練を楽しみながら行う事ができます。

## 20種類以上の選択プログラム

### ▼畑・園芸



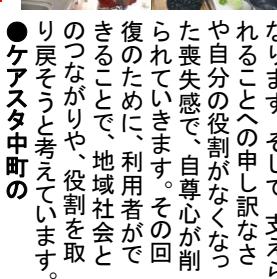
### ▼料理



### ▼薪割り・ご飯炊き



### ▼パン作り



### 支えられる側から 支える側へ

- できないことを“してあげる”のは、単なるお世話を
- できることに焦点を当てて、その人らしく暮らせるようにするのが介護

### しかし、出来る事もあるのです！

## これまでの介護の課題

「自宅やデイサービスで、ご自分がしたいこと、できることを見つけ出し、生活動作として毎日繰り返すことで、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。また、少しだけ頑張つていただけます。また、少しだけ頑張つていただけます。そのことが、生活の質の維持・向上につながると考えるからです。さらに、ケアスタ中町では、おひとりの「利用者」の心に潜んでいる「じてみたいこと」を一緒に探し出し、そのことが実現できるようにサポートいたします。

「様々なプログラムがありますので、集団にならぬない方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加プログラムもご用意しております。」

認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやられていることへの怒りを感じることもあるでしょう。一方、積み重ねてきた作業が覚えていることがあります。認知症の人は、そうして「体で覚えたこと」「なじみの作業」は、失われにくく傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前はまさにその人の感情にとらわれずします。

認知症や要介護になると、いろいろなことを制限され、やつてもらうことなどが当たり前になってきます。“何かあっては困る”と活動するリスクは全て排除されてしまいます。これは、本当に望んだ姿なのでしょうか、ただ安全にいきるためだったら、部屋についてじっとしているしかありません。

## 「なじみの作業記憶」 を活用



- ①家や施設などの自分が所属している場所の役に立つ活動
- ②地域社会や人の役に立つ活動
- ③対価を得られる活動

### 3種類の活動



ご利用に関するご相談はLINE  
またはお電話でお問合せ下さい！  
**0228-24-8456**